

**近畿地方交通審議会  
近畿船員部会議事録**

**第194回**

**令和6年11月27日**

日 時 令和6年11月27日(水) 16時30分から

場 所 近畿運輸局 会議室(船員部会室)

出席者 公益委員 横見委員、定岡委員、三輪委員、  
安達委員

労働者委員 浦委員、佐藤委員、坂上委員

使用者委員 磯合委員、土屋委員、開委員

運 輸 局 岩佐海事振興部長、三浦海事振興部次長、  
土本船員労政課長、矢野船員労政課専門官、  
衣川船員労働環境・海技資格課長

議題1. 管内の雇用等の状況について

議題2. その他

## 議 事 概 要

横見部会長：

それでは、ただ今から第194回近畿船員部会を開催いたします。

あらかじめお配りしております「第193回船員部会」の議事録につきまして、ご承認をお願いしたいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なし)

横見部会長：

無いようですので、ご承認をいただいたものとして取り扱わせていただきます。

それでは、議題1の「管内の雇用等の状況」について、運輸局からご説明をお願いいたします。

土本船員労政課長：

それでは「令和6年10月分管内雇用状況」につきまして、ご説明させていただきます。

### 1. 職業紹介状況

#### ①求人関係

新規求人数は、92人（前月比+33人、55.9%の増、前年同月比：-21人、18.6%の減）となっています。

月間有効求人数は、187人（前月比+27人、16.9%の増、前年同月比：-35人、15.8%の減）となっています。

#### ②求職関係

新規求職者数は、9人（前月比-2人、18.2%の減、前年同月比：-4人、30.8%の減）となっています。

月間有効求職者数は、25人（前月比-2人、7.4%の減、前年同月比-3人、10.7%の減）となっています。

### ③成立状況

当月の成立数は、2人（前月比：－4人、66.7%の減、前年同月比：－4人、66.7%の減）となっています。

### ④職員・部員別成立者内訳

職種別の内訳は、甲板部職員1人、機関部職員1人、甲板部部員0人、機関部部員0人、事務部部員0人となっています。

年齢別については、10歳代0人、20歳代0人、30歳代0人、40歳代2人、50歳代0人、60歳代0人、70歳代0人となっています。

## 2. 新規求人・求職者の取扱実績

### ①職種別内訳

新規求人の職種別内訳は、職員64人（甲板部41人、機関部23人、無線部0人、事務部0人）、部員28人（甲板部21人、機関部3人、無線部0人、事務部4人）となっています。

新規求職の職種別内訳は、職員4人（甲板部3人、機関部1人、無線部0人、事務部0人）、部員5人（甲板部3人、機関部0人、無線部0人、事務部2人）となっています。

### ②新規求職者の退職理由

内訳は、船舶所有者の都合が0人、定年退職0人、雇用期間満了1人、本人の申し出2人、自己の健康0人、倒産0人、就労中4人、不明2人となっています。

### ③新規求職者の年齢別

30歳未満1人、30歳代2人、40歳代3人、50歳代2人、60歳以上1人となっています。50歳以上は3人で占める割合は33.3%、30歳未満の占める割合は11.1%です。

## 3. 失業等給付金支給状況

当月末の受給資格者数は15人で、基本手当の支払実人数は2人、給付件数は2件となっています。給付金額は330,623円です。前月は2人、給付件数は2件、給付金額は176,894円でした。

それから、高年齢求職者給付金が0件0円、再就職手当が1件、402,885円、就業促進定着手当が0件0円よって、当月支給額計は、733,508円となります。

#### 4. 月間有効求人倍率の推移

10月の近畿船員は7.48倍で、前月比+1.55ポイント、前年同月比、-0.45ポイントとなっています。

#### 5. 近畿運輸局、月間有効求人・求職状況

①月間有効求人は187人で、このうち、新規求人者数は92人となっています。

当局の紹介による求人側の成立は2人、他局成立は0名でございました。求人の取り消しは50人で、理由の内訳は有効期限切れ50人、自己応募・縁故により採用0人、会社都合により取り下げ0人、その他は0人となっています。

②月間有効求職者は25人で、前月との差は-12人でした。

当局の紹介による求職側の成立は1人、他局成立は0人でした。求職の取り消しは3人で、理由の内訳は期限切れ2人、自己応募・縁故により採用0人、自己都合により取り下げ1人、その他0人となっています。

#### 6. 全国運輸局別の有効求人、有効求職、成立数、有効求人倍率

①9月の全国の月間有効求人数は、2,931人で、前月比164人減の94.7%、前年同月比222人減の93.0%となっています。

②9月の全国の月間有効求職数は、618人で、前月比4人増の100.7%、前年同月比130人減の82.6%となっています。

③9月の全国の成立数は、42人で、前月比4人減の91.3%、前年同月比15人減の73.7%となっています。

④ 9月の全国船員の有効求人倍率は季節調整値により4.67倍となっています。9月の全国陸上は季節調整値により1.24倍となっています。

以上が管内の雇用等の状況でございます。

横見部会長：

ご説明ありがとうございます。

資料1、2、3について何かご質問等ございますでしょうか。

開委員：

今回、求人成立された方が2名で、1名は当局、もう1名は他局で求職されていた方ということですが、「当局の紹介」とはどのように働きかけを行っているのでしょうか。

土本船員労政課長：

事業者から紹介依頼があった際に、紹介状を作成して事業者へお渡します。

開委員：

求人票に記載された条件に合う方を事業者に紹介しているということでしょうか。

土本船員労政課長：

そうです。

開委員：

ありがとうございます。

横見部会長：

他いかがでしょうか。

無いようですので、それでは、次に議題2の「その他」に入ります。

運輸局の方から説明をお願いします。

三浦海事振興部次長：

資料4を説明申し上げます。

まず、令和6年9月分の内航海運の輸送動向調査の概要ですが、貨物船と油送船を合計した輸送量は前年同月比96%となっております。

貨物船は鉄鋼、燃料（石炭、コークス）、紙・パルプ、雑貨が増加  
原料、自動車、セメントは減少、

油送船は 高圧液化、耐腐食以外の品目で減少

台風、台風から変わった低気圧や活発化した前線の影響により船舶が避難、欠航するなど輸送障害が見られたようです。

9月の貨物船の輸送量は、前年同月比97%、前月比118%となっています。

鉄鋼は 前年同月比 101%で、台風や低気圧の発生の影響で長い期間、避難の繰り返しが見られ、次月に繰り越す貨物があつたようです。

原料は 前年同月比 93%。 金属鉱は大幅に増、石灰石、スラグ等が減少に転じた影響で原料全体としても減少となったようです。

燃料は 前年同月比 111%。 コークスの輸送は低調のようですが、石炭の輸送は好調に推移したようです。

紙・パルプは 前年同月比 101%。 紙、木材は減少のようですが、パルプは新規案件を獲得した事業者の増もあり、前月並みになったようです。

雑貨は 前年同月比 102%。 一般雑貨は、物価の上昇による個人消費の伸び悩みもあり消費材の荷動きが低調のようで、北海道航路の農産品（タマネギ、ジャガイモなど）は、作柄もよく順調な出荷がみられたようです。

自動車は 前年同月比92%で、メーカーの減産により輸送は低調に推移したようです。

セメントは 前年同月比 93%で、全国的な販売不振により低調に推移しているようです。

続きまして、油送船の輸送量ですが、前年同月比 96%で、前月比 104%となっています。

黒油（こくゆ）は 前年同月比 95%で、石油火力発電所向けの需要が減少しているようで、また、製油所装置の不具合による転送需要が継続中のようです。

白油（はくゆ）は 前年同月比 96%。

ガソリンや灯油の輸送は低調に推移し、ジェット燃料は高い水準で推移しているようです。また、黒油同様に製油所装置の不具合による転送需要に影響があり、ケミカル船で輸送をカバーしている状況となっているようです。

それでは3ページ以降、貨物ごとの状況です。9月の対前年比欄と、右側の対前月の欄をご覧ください。

鉄鋼ですが、	前年同月比で	100.7%	、対前月比は	120.3%
原料は、	前年同月比で	93.1%	、前月比では	106.6%
燃料は、	前年同月比で	111.3%	、前月比では	96.0%
紙・パルプは、	前年同月比で	100.7%	、前月比では	120.0%
雑貨は、	前年同月比で	101.5%	、前月比では	115.4%
自動車は、	前年同月比で	91.6%	、前月比では	140.8%
セメントは、	前年同月比で	92.8%	、前月比では	119.5%

貨物船全体の輸送量は、1,759万9千トンで  
前年同月比で 96.7%、対前月比では 118.0%となっています。

黒油（こくゆ）は、前年同月比で 95.2%、前月比では 113.1%  
白油（はくゆ）は、前年同月比で 95.6%、前月比では 101.1%  
ケミカルは、前年同月比で 92.1%、前月比では 106.3%  
一般タンカーの輸送量は、715万5千トンで  
前年同月比で 95.2%、対前月比では 104.5%となっています。

続きまして、

高圧液化は、前年同月比で 101.1%、前月比では 95.9%  
高温液体は、前年同月比で 83.7%、前月比では 100.0%  
耐腐食は、前年同月比で 103.5%、前月比では 109.6%  
特タン船の輸送量は、90万5千トンで  
前年同月比で 100.4%、対前月比では 101.7%となっており、  
全てのタンカーの合計は、806万トンで  
前年同月比で 95.8%、対前月比では 104.2%となっています。

次に資料5、令和6年9月における長距離フェリーの輸送実績でございます。

9月の欄と、右のほうの対前月、対前年同月比のところをご覧ください。  
まずは「トラック」ですが、

北海道方面では、15,533台で、前月比 104.5%、前年同月比  
104.7%

北九州方面では、35,504台で、前月比 124.1%、前年同月比  
107.3%

中九州方面では、10,831台で、前月比 115.6%、前年同月比  
104.9%

南九州方面では、12,418台で、前月比 138.7%、前年同月比  
112.6%となっています。

次のページの「旅客」では、

北海道方面では、

24,348人で、前月比 87.4%、前年同月比 142.0%

北九州方面では、

77,974人で、前月比 79.9%、前年同月比 113.1%

中九州方面では、

29,991人で、前月比 69.3%、前年同月比 113.0%

南九州方面では、

24,272人で、前月比 76.6%、前年同月比 118.0%

となっています。

最後に、次のページの「乗用車」では、

北海道方面では、

7, 673台で、前月比 85.0%、前年同月比 121.7%

北九州方面では、

24, 389台で、前月比 82.8%、前年同月比 108.9%

中九州方面では、

4, 301台で、前月比 52.7%、前年同月比 108.0%

南九州方面では、

7, 828台で、前月比 87.9%、前年同月比 115.3%

となっています。

トラックは、北海道・九州方面ともに、輸送実績のすべてが、「対前月」「対前年同月」とともに100%を超えている状況が見受けられます。

旅客と自動車については、「対前月」は減少しているが、「対前年同月」でみると増加の状況が見受けられます。

私からの説明・報告は以上です。

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは、資料4、5について何かご質問等ございますでしょうか。

横見部会長：

北海道の旅客が前年同月と比べてすごく増加していますね。

開委員：

そうですね。これまでにない旅客の数になりまして、要因としては、8月はお盆とかで料金を高く設定しているのですが、必ずしも8月に行かなくて

もいのような60代以上の人など、自由が利く方が料金の高い時期を避けてこられたようで、増加したようです。

横見部会長：

特にキャンペーンを打ったということはないのでしょうか。

開委員：

特にはないです。

横見部会長：

台風も少なくて。

開委員：

それはあります。台風が少ない分、例年より多く航海できましたので。乗用車の数も増えており、団体で旅行される方が減って、家族や仲間といった少人数単位で旅行される方が増えているといった傾向があります。

佐藤委員：

長距離フェリーについては、北海道便に限らず、トラック・旅客・乗用車全てコロナ前の水準を上回っていることもあって、完全に復活したと言い切ってよいかと。

開委員：

トラックについてはあと一息というところでしょうか。

佐藤委員：

大阪支部で担当している旅客船の会社、このあたりの遊覧船とかもそうなんですが、旅客数はコロナ前まで到達していない状況で、だいたいコロナ前の8から9割くらいは戻ってきているのですが、なかなか戻りが遅い状況で

す。インバウンドはすでに上回っているのですが、日本人の団体がなかなか戻ってきていない状況が続いています。

横見部会長：

日本人の国内観光の実態については把握してないのですが、今円安で海外へ出控えている人が国内にシフトしてくるのかなと思っていて、プライベートで出かけた時には、ずいぶん国内外国含めて観光地に観光客が増えたなど実感として持っているのですが、まだ国内観光客は戻ってきていないのですか。

佐藤委員：

そうですね。コロナ前までは旅客の7対3くらいで日本人が多かったところも今は半々、4対6くらいでインバウンドが上回っているような状況です。まだ週末は日本人が多い傾向にありますが、平日の昼間となると日本人を探すのが難しいほど外国人が増えている状況です。

横見部会長：

ありがとうございます。

他いかがでしょうか。

それでは事務局より報告事項がありますのでよろしくお願いします。

- ・ 漁業に関する特定最低賃金の拡大について

[ 土本船員労政課長（説明） ]

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは、資料6について何かご質問等ございますでしょうか。

横見部会長：

近畿管内は沖合底びき網漁業のままでしょうか。

土本船員労政課長：

変更はありません。

横見部会長：

それでは続いて、参考資料 1、2 について事務局の方から引き続きお願い  
します。

- ・参考資料 1. 海技人材の確保検討会
- ・参考資料 2. JMETSの検討会「論点整理&委員ヒアリングまとめ」  
〔 三浦海事振興部次長 (説明) 〕

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは、参考資料 1 と 2 について何かご質問等ございますでしょうか。

土屋委員：

交通政策審議会第177回船員部会に於いて船員関係政策見直しに関する意見聴取をしているようですが、有料職業紹介、民間の船員職業紹介事業を解禁するという話について、詳しい情報はお持ちでしょうか。

土本船員労政課長：

まだ本省ホームページには載っていないようですが、当局に資料は展開されています。ただ、概要までは送られてきていません。

三浦海事振興部次長：

先ほど説明いたしました、「海技人材の確保のあり方に関する検討会」でさまざまな議論が行われて、最終的にとりまとめたものが船員部会で報告されるかと思えます。今はまだ経緯の段階での資料を提示しています。

横見部会長：

他いかがでしょうか。

それでは、もう1件事務局から報告がございます。

- ・ 船員保険被保険者証の廃止に伴う船員保険加入確認の代替書類について  
〔 衣川船員労働環境・海技資格課長 （説明） 〕

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは、ただ今の件について何かご質問等ございますでしょうか。

横見部会長：

それでは、次に、船員政策や船員労働全般に関わる様々な問題について、ご意見や情報などございましたらご発言をお願いいたします。

では、まず労働者委員のほうから何かございますでしょうか。

佐藤委員：

先日、第108次海員FOC・POCキャンペーンということで、大阪港の外航船の査察訪船を行いました。3日間で外航船12隻訪船いたしました。そのうち9隻がITF協約を締結していなかったため警告文を提出しました。そのうちの2隻については興徳海運の船で、1隻は我々が近づくと舷梯を2m近く巻き上げ、舷門のクルーからは会社からの指示で、乗船させることはできないといわれました。このことから船員労政課長あてにPSC出動要請書を提出させていただきました。運輸局からは、外国船舶監督官の要員不足もあって、出動する人がいませんという回答だったのですが、そんなにいないものなのですか。毎回要請して同じ回答ですが、一度出動していただきたいと考えていますがいかがでしょうか。

矢野船員労政課専門官：

スケジュールがあえばというところのようです。

佐藤委員：

こういう要請には応じられないというスタンスなのか、本当に人が足りないのか明確にしていきたい。

矢野船員労政課専門官：

そこまでの回答はもらっていません。

佐藤委員：

全国で同様のケースが発生していて、目の前で舷梯を巻き上げるという非常に危ない行為を行っているので、一緒に外国船舶監督官と査察するのもありかなと思います。また、次回、大阪港で行いますので、なんとかアクションを起こしていただくようお願いいたします。

浦委員：

神戸運輸監理部での話です。切れたら作業員が死ぬ危険のあるホーサーもいつ切れるかわからないほどの状態、衛生面で重要なラットガードも適正に使っていない、先端にもう穴が開くかどうかくらいへこんでいるような船体いつ浸水するかわからない状況がわかる写真を提供すると、神戸の外国船舶監督官は、穴が開いていないからいいでしょうとか、2ヶ月前に行ったからいいでしょうと言われました。あなたたちは実際に穴が開いてから行くんですかと本当にがっかりしました。そういう外船官にはならないでくださいと伝えてください。

三浦海事振興部次長：

伝えておきます。

横見部会長：

他、労働者委員からいかがでしょうか。

坂上委員：

来月12月3日に、南海フェリーのフェリーあいをチャーターして和歌山県白浜町の白浜第一小学校と白浜第二小学校の6年生34名が参加して、体験乗船を行います。近畿運輸局から三浦次長の出席いただく予定ですので、よろしく願いいたします。

横見部会長：

それでは、使用者委員の方からいかがでしょうか。

横見部会長：

そのほか、公益委員の方からいかがでしょうか。

三輪委員：

査察の話とか、小学生向けのイベントなどの案内は、ホームページ等で確認できますか。

浦委員：

ホームページではアップしていません。FOCキャンペーンなども積極的に発信するということはしていません。

三輪委員：

査察を行って、こういった危ない事例がありましたといった報告のようなものはどこかで見ることにはできますか。

浦委員：

内部での報告だけです。

三輪委員：

労働環境に関して、こういう危険な部分がありましたとか、こういう状況は非常に危険じゃないですか、と船名や会社名を伏せた上で情報として提示できれば啓発活動になるのではと思います。事前に「査察に行きますよ」と

言ってしまうと構えられてしまうという懸念はわかります。ただ、こういうことが常態化しているので、港側でも船側でも環境改善することで労働者のためになるのではないのでしょうかと情報発信されることも重要かと思います。

浦委員：

ホームページなどありますので、そういう場を通じて進言していきたいと思います。ありがとうございます。

佐藤委員：

南海フェリーの体験乗船は、記者クラブを通じてマスコミ関係へは実施と取材受付を知らせています。来られるかどうかはわかりませんが、日本海事新聞には記事を掲載させていただきますと返事をいただいています。

横見部会長：

ありがとうございました。  
そのほか、事務局からいかがでしょうか。

横見部会長：

それでは本日の部会は終了いたします。  
次回は12月18日（水）16時30分からとなっておりますので、皆様  
よろしく願いいたします。

（配付資料）

- 資料1．令和6年10月分 近畿運輸局管内船員職業紹介実績表
- 資料2．令和6年10月分 月間有効求人・求職状況（近畿管内）
- 資料3．令和6年9月分 局別月間有効求人数（商漁船・職部員別）等
- 資料4．内航輸送実績状況（令和6年9月分まで）
- 資料5．長距離フェリー輸送実績の推移（令和6年9月まで）
- 資料6．漁業に関する特定最低賃金の拡大について

参考資料 1 . 海技人材の確保検討会

参考資料 2 . JMETS の検討会「論点整理&委員ヒアリングまとめ」